

トビタテ!留学JAPAN 支援企業・団体一覧

(株)IHJ あいおいニッセイ同和損害保険(株) (株)アイスタイル (株)アカツキ 旭化成(株) (株)朝日新聞社 (株)アシックス 味の素(株) アビームコンサルティング(株) アルー(株) (株)ECC EY新日本有限責任監査法人 (株)市進ホールディングス 出光興産(株) 伊藤忠商事(株) 伊藤ハム(株) 稲畑産業(株) 岩谷産業(株) インフォコム(株) ウィプロ・リミテッド (一財)上田記念財団 (株)内田洋行 AIG損害保険(株) 英進館(株) (株)エイチ・アイ・エス ANAホールディングス(株) SBIホールディングス(株) NTTグループ (株)M&Lトラスト (株)オウケイウェイヴ オークマ(株) 大阪ガス(株) 大阪シーリング印刷(株) 大塚オーミ陶業(株) (株)大塚商会 (株)大林組 オムロン(株) 花王(株) カシオ計算機(株) (株)学研ホールディングス (株)カネカ 兼松(株) 学校法人河合塾 川崎重工業(株) キッコーマン(株) (株)紀伊國屋書店 キヤノン(株) キュービー(株) (株)QunaSys 京セラ(株) 共立製薬(株) (株)公文教育研究会 (株)クリーク・アンド・リバー社 (株)グレハ (一社)グローバルIT人材育成会 グローリー(株) KDDI(株) (株)神戸製鋼所 興和(株) (株)コーセー (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会 コニカミノルタ(株) (株)小松製作所	サクラグローバルホールディング(株) サッポロホールディングス(株) (株)さなる (株)SUMCO CBC(株) JFEホールディングス(株) (株)JTB (株)ジェイテクト シスメックス(株) (株)資生堂 シチズン時計(株) 澁谷工業(株) (株)島津製作所 島村楽器(株) 清水建設(株) (株)ジャパンタイムズ 信金中央金庫 (一社)信託協会 (株)スズケン 住友化学(株) 住友金属鉱山(株) 住友重機械工業(株) 住友商事(株) 住友不動産(株) 住友林業(株) 駿台国際教育センター(株) セイコーエプソン(株) セイコーグループ(株) セイハネットワーク(株) セガサミーホールディングス(株) 積水化学工業(株) 積水ハウス(株) (同)Setolabo (一社)ゼブラ社会貢献支援協会 (株)セブン&アイ・ホールディングス (株)セラフ 双日(株) ソニーグループ(株) ソフトバンクグループ(株) 損害保険ジャパン(株) (公財)孫正義育英財団 第一生命保険(株) ダイキン工業(株) ダイハツ工業(株) 太平洋セメント(株) (株)TIME 大和ハウス工業(株) (株)高島屋 宝ホールディングス(株) 武田薬品工業(株) (株)竹中工務店 (株)丹青社 (株)地球の歩き方 中外製薬(株) 蝶理(株) TSUCHIYA(株) (株)樞屋 DIC(株) DMG森精機(株) (株)ディー・サイン TDK(株) (株)帝国ホテル (株)デジタルメディアプロフェSSIONAL	(株)ディスコ テルモ(株) 東亜合成(株) 東海旅客鉄道(株) 東急(株) 東急不動産ホールディングス(株) (株)JTB 東京海上日動火災保険(株) 東京ガス(株) 東京国際空港ターミナル(株) (株)東京個別指導学院 (株)東芝 東武鉄道(株) 東武トップツアーズ(株) 東レ(株) TOTO(株) トヨタ自動車(株) 豊田通商(株) (株)トラストバンク (株)ナガセ 長瀬産業(株) 成田国際空港(株) (株)ニコン 西日本旅客鉄道(株) (株)日能研九州 日油(株) (株)ニチレイ 日産化学(株) 日清食品ホールディングス(株) 日清紡ホールディングス(株) 日鉄物産(株) 日東電工(株) (株)ニッポン 日本カルミック(株) 日本軽金属グループ (株)日本触媒 日本製鉄(株) 日本電気(株) 日本発条(株) 日本郵政グループ (株)日本旅行 日本アイ・ビー・エム(株) 日本アイラック(株) 日本板硝子(株) (公財)日本英語検定協会 日本空港ビルデング(株) (株)日本経済新聞社 日本航空(株) 日本証券業協会 (一社)日本女性エグゼクティブ協会 日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ(株) 日本たばこ産業(株) 日本ビジネスシステムズ(株) 農林中央金庫 ハウス食品グループ本社(株) 長谷工グループ パナソニック ホールディングス(株) (株)パブリックビジネスジャパン (株)パロマ 阪急電鉄(株) バンドー化学(株) 阪和興業(株) BNPパリバ・グループ	PwCコンサルティング(同) 東日本旅客鉄道(株) ビジョン(株) (株)ビズリーチ (株)日立製作所 日立造船(株) BIPROGY(株) ファナック(株) (株)ファミリーマート (株)ファンケル フォースバレー・コンシェルジュ(株) 富士通(株) フジテック(株) 富士フイルム(株) 富士フイルムビジネスソリューション(株) (株)ベネッセコーポレーション (株)ベネフィット・ワン ボーダレスハウス(株) (株)堀場製作所 (一社)マインドフルリーダーシップインスティテュート (株)牧野フライス製作所 マネックスグループ(株) 丸紅(株) ミズノ(株) (株)みずほ銀行 三井住友海上火災保険(株) (株)三井住友銀行 三井物産(株) 三井不動産(株) (株)Mizkan (株)三越伊勢丹ホールディングス (株)三菱ケミカルグループ 三菱地所(株) 三菱重工業(株) 三菱商事(株) 三菱電機(株) (株)三菱UFJ銀行 森トラスト(株) 森ビル(株) 八木通商(株) (株)ヤクルト本社 ヤフー(株) (株)UACJ (株)ユーキャン (株)ユーグレナ ユニー(株) ユニ・チャーム(株) ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス(同) 横浜ゴム(株) ライオン(株) (株)LIXIL (株)リクルートホールディングス (株)リミックスポイント (株)リンク・インタラック リンナイ(株) (株)ルネサンス (株)レオパレス21 レンゴー(株) (株)ローソン ローム(株) (株)ワコールホールディングス (株)早稲田アカデミー
---	--	---	--

(令和4年12月31日現在、公開企業251社・団体、50音順)



トビタテ高校生コース 5期生 イギリスへ留学
留学テーマ：世界の教育を見て、日本の教育を考える

トビタテ!留学JAPAN 年次報告2022

第2ステージに向けて！



文部科学省
MEXT
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



■ お問い合わせ先

文部科学省 官民協働海外留学創出プロジェクト

(独)日本学生支援機構 グローバル人材育成部 グローバル人材育成企画課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2 Tel 03-6734-4923 Fax 03-6734-4936
Mail tobitate-private@mext.go.jp

トビタテ生×支援企業座談会

留学経験が社会を 変革させる原動力に

留学によって世界を知り、多様な価値観とのぶつかり合いや対話の中から学んだ若い世代への期待はますます高まると考えられます。本座談会では、トビタテ!留学 JAPAN (以下、「トビタテ」) を利用して留学し、現在は社会人として活躍する内山さん、榎崎さんに、留学で何を学んだのかを、また、グローバル人材育成コミュニティ協議会代表幹事の渡邊さんには、企業が留学を支援することの意義をお聞きます。

トビタテに応募したきっかけ

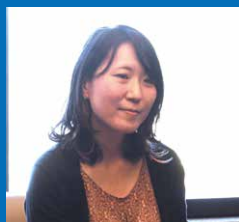
英語が苦手なことが理由で、海外に興味を持てないとしたらとてももったいない

渡邊：内山さんは、プロフィールを拝見すると、「中学時代は授業中ずっと寝ているような生徒で、未来に明るい展望を見いだせなかった」と。そういう人が、なぜ高校時代にトビタテに応募したのでしょうか。

内山：中学時代に二つ悔しい思いをし、高校では必ずリベンジをしようと思ったことが理由です。一つは、卒業式で同級生が色んな挑戦をしたことを語るスピーチを聞いて自分は何も挑戦をしていないと感じたこと、もう一つは、修学旅行でオーストラリアに行った時にホストファミリーとろくに話もせずに帰国してしまったことです。実際、いろいろ挑戦したら世界が変わったし、海外でも友達ができました。カナダのホストマザーとも、家族のような関係になれました。

このときの経験から、英語が苦手なことが理由で、海外に興味を持てないとしたらとてももったいないと思いました。英語を習い始めるときってとても大事なのはと思い、今の英語教員という仕事につながりました。

渡邊：それはすごい気づきですね。中学生から高校生になるタイミングで気づきがあったのはとてもよかったのではないのでしょうか。トビタテの留学経験者や、トビタテ生ではないけれど世界に飛び立った人たちがロールモデルになって、きっかけを与えることは非常に重要ですね。



榎崎 洋子さん

トビタテ大学生等コース2期生
フィンランドのアールト大学で学び、
ユニセフのウガンダ環境改善プロジェクト
に参加。
現在の所属：NEC コーポレートデザイン部



内山 翔太さん

トビタテ高校生コース1期生
カナダのプリティッシュコロンビア大学に
「英語教育」「国際教育」をテーマに留学。
現在の所属：英語教員（奈良県）



途上国を見て、支援するだけでは何も変わらない、ビジネスモデルが重要だと実感

渡邊：榎崎さんは、留学の中でビジネスモデルを学んだとのこと。欧州の中高生は早くからビジネスを意識しますが、残念ながら日本の中高生は受験で精一杯で、ビジネスは遠い先のことになっています。そのような中で、どのようにして留学中にビジネスモデルの大切さに気付いたのでしょうか？

榎崎：ウガンダのプロジェクトに参加したのが大きかったですね。ウガンダには、多くの支援団体から支援物資が届いているのですが、せっかく送られてきた農機具が壊れたまま放置されていたり、物資がなくなっても次の支援物資が来るのをただ待っているだけ。渡すだけの支援って意味がないんだな、受け取った物資をいかにビジネスとして回していくかという発想や仕組みがないと、何も変わらないんだと思ったんです。そのときに、ビジネスってすごく重要だと実感しました。

渡邊：それもすごい気づきですね。魚ではなく、釣り竿を与え、釣り方を教えるほうが重要だという考え方がありますが、榎崎さんは、まさにこのことを留学で学んだんですね。

コロナ禍を経て、留学すること、 留学を支援する意味

渡邊：コロナ禍やウクライナ問題など、世界情勢の大きな変化が重なる中で、DXについては日本は世界から周回遅れ



であることを思い知らされました。

もう一つ思い知らされたのは、日本は開かれた国でないと発展できないということです。人のインバウンド、アウトバウンドもそうですし、物流もエネルギーも食料も、日本は外とのつながりなしでは立ち行かないことをまざまざと痛感させられました。

この気づきの中で、日本はこれからどうすればいいのか。やはり今後も常に開かれた状態の国にしなければ、日本の未来はない。

より選択肢の振れ幅が大きくなるのが、高校留学の最大の魅力

内山：高校のトビタテ生から「大学の留学は白いキャンパスに絵を書き込んでいくようなものだが、高校の留学は白いキャンパスを広げるようなものだ」と聞いたことがあります。大学の留学ももちろんいろいろな選択肢がありますが、高校のタイミングで行くと、将来の夢が変わるくらいインパクトが大きいんですよね。より選択肢の振れ幅が大きくなるのが、高校留学の最大の価値だと思います。

トビタテの価値について

留学ももちろんだが、コミュニティが最大の価値

内山：トビタテの価値は、留学の機会もそうですが、私は「コミュニティ」が最大の価値だと思います。トビタテの同窓会コミュニティ「とまりぎ」は、9千人もの多種多様な留学経験をもった人たちが集まる、全国でも稀有なコミュニティです。私自身も、就職、転職、仕事が行き詰まったときなど、人生の節目節目でコミュニティに助けられてきました。私はたまたまトビタテのことを担任の先生から聞いて知り、留学するという決断をしました。7年前の決断が、こうして今もコミュニティにつながっているし、いろいろな人に出会い、助けられ、今後もつながっていくのだと思うと思います。これは私の宝だと思います。

自分の目標をより明確にし、さらに拡張してくれた

榎崎：私は、高校生のときから、デザインをやりたいという目標を持って大学に進学。大学に入ってからにはもっと勉強したくて大学院へ。大学院では、海外でも学びたいと思いトビタテに応募しました。目的意識は強かったですね。しかし、トビタテに応募を決めて、応募書類を書くことで、自分の漠然とした目的がより明確になりましたし、行前前の事前研修では「何にでも飛び込め」と言われたことでモチベーションを高めた上で留学することができました。そのおかげで、ウガンダのプロジェクトにも飛び込むことができました。

コミュニティがあるからこそ留学経験が輝いてくる

渡邊：私は2022年から「グローバル人材育成コミュニティ協議会」の代表幹事になりました。協議会の名称が、「グローバル人材育成協議会」ではなく、「グローバル人材育成コミュニティ協議会」であることがポイントだと思います。「留学によって、グローバル人材を育成する」ということは当然トビタテの目的の一つですが、コミュニティがあるからこそ、その後の人生の展開に役立っている。留学はきっかけにはなるけれど、その経験を輝かせるのはコミュニティがあるからこそなのだ、ということ、トビタテ生たちの体験談を聞いて強く感じました。トビタテの活動を支援してくださる企業の方には、ぜひとも、「コミュニティ」に価値を感じていただきたいですね。企業の中には、自社の冠をつけて一社単独で留学生を支援したい、その後は自社に来て活躍してほしいと思っているところも多いかもしれませんが、トビタテの主旨はそこではない。企業経営者としては、若い人たちに広く世界に飛び立ってほしいと思って協議会に賛同・参画してほしい。そういうふう考える経営者の経営は、きっと開かれた経営ですから、逆に人を呼び込むと私は信じています。今回お二人の話をお聞きして、ますますこの協議会は「グローバル人材育成コミュニティ」なのだという想いを強くしました。



(取材日：2022年12月27日) 全文はこちらへ

トビタテ! 留学JAPAN 第1ステージ

「トビタテ! 留学JAPAN」は、日本再興戦略に基づき文部科学省、(独)日本学生支援機構、民間企業・団体のオールジャパン体制で2013年に開始した官民協働プロジェクトです。

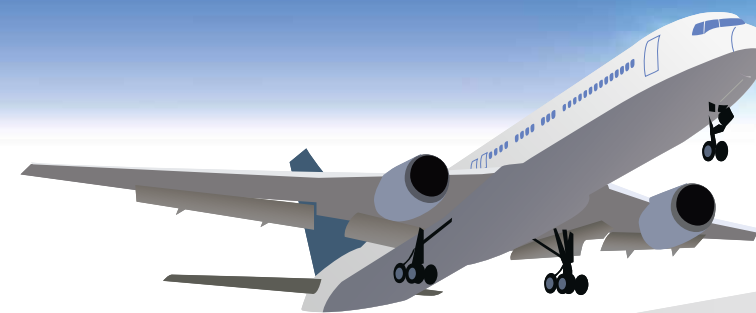
若者の留学機運を高め、留学者数を倍増することを目指しています。

第1ステージでは、その代表的な取り組みとして、民間寄附による返済不要の給付型奨学金制度

「トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム」を展開し、

約9,500名の大学生・高校生等を

採用しました。



2022

2020

2013

2014

日本再興戦略
-JAPAN is BACK-第2期
教育振興基本計画グローバル人材
育成コミュニティの創設

若者のエネルギーが必要な日本

1. 世界最先端の少子高齢化社会へ

2060年には、日本の人口は現在の3分の2(約8,700万人)に。高齢化により、生産年齢人口はさらに減少。

2. 課題先進国、JAPAN

少子高齢化だけでなく、日本にはこれから解決すべき多くの課題がある。

例 財政赤字、競争力低下、エネルギー/原発子育て、女性の社会進出、外交/防衛

社会もこう変わっていく

1. 変化のスピードがUP

2. シンギュラリティ

—2045年、機械が人間を超える?

3. VUCA WORLD

▶ 将来を見通すことが困難で、
“正解のない時代”に突入

これからの変化が激しく、予測が困難で、
正解のない時代を生きていくためには
自ら「未来を切り拓く力」が必要

2014



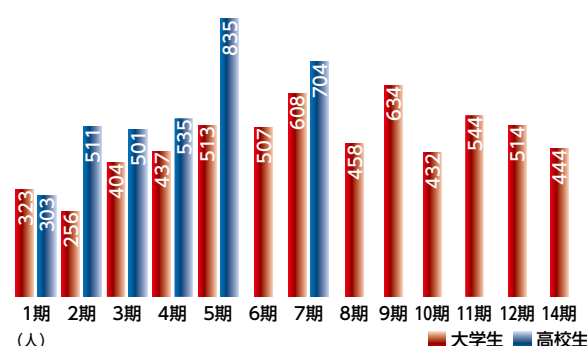
記念すべき1期生を323名採用

選考会では多くの支援企業に協力いただき、
研修では横のつながりが強固になりました。

2015年から高校生コース渡航開始

地域ごとに
社行会や
成果報告会を
実施インターンシップ
受入企業との
個別相談大学生コース3期から地域人材コースの
募集を開始

トビタテ! 留学JAPANの留學生数推移



2014年度～2021年度のトビタテ生採用数の推移
大学生等コースは毎年2期分採用、高校生コースは毎年1期分採用しています。
大学生13期および高校生6期は、コロナ禍の影響によって選考を中止しました。

いろんな留学の
在り方を見せる

可能性の拡散

留学大図鑑

“世界”を身近に
ソーシャル部活

興味を育てる

#せかい部

留学生のリアルを
伝える

等身大の成長

留学
ドキュメンタリー広がり続ける
トビタテコミュニティ

コロナ禍でも立ち向かう学生たち

大学生等コース14期 444名採用
高校生コース7期 704名採用

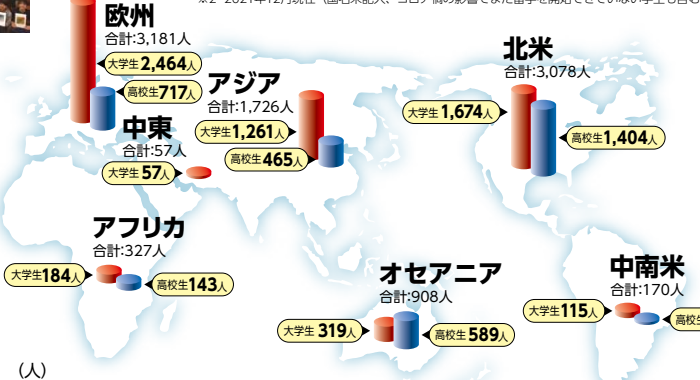
社会で活躍し始めるトビタテ生

上記のようなトビタテ生がたくさんいます。
ぜひ、右下のQRコードからご覧ください。

トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラム 派遣状況

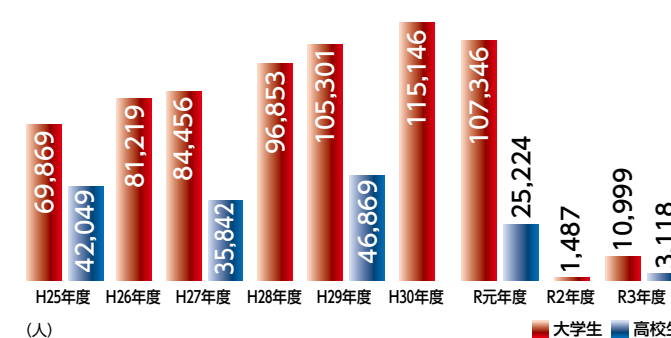
総計9,471人^{※1,2}が飛び立った!

※1 採用人数
※2 2021年12月現在(国名未記入、コロナ禍の影響でまだ留学を開始できていない学生も含む)



(人)

日本の大学生等・高校生の留學生数推移



(人)

※データは、2023年4月現在 大学生等は1年、高校生は隔年で調査

トビタテ! 集大成動画

トビタテのこれまでの
成果や、多様な
トビタテ生の声など
を集めた集大成動画
はこちら!





高校生コース 第7期派遣留学生 決意表明ムービー

これまで大学生**6,074**名、高校生**3,397**名を採用しました。
応募総数は延べ**30,294**名です。

地域人材コースにおいては、採択した地域事業が**23**地域まで
広がりました。

大学生が訪れた国の数は121か国、高校生が訪れた国の数は78か国にもなりました。

これまでに**260**社の団体・企業様および**500**名を超える個人
の皆様から約**123**億円のご支援をいただきました。

寄附以外にも広報活動や研修などのさまざまな場所で、多くの団体・企業の方からご支援
いただいております。

トビタテ! 留学JAPAN 日本代表プログラムの 軌跡

留学促進キャンペーンの
として2014年に開始した
日本代表プログラムも
様々な実績を残す
こちらではその

フラッグシッププログラム
「トビタテ!留学JAPAN」
多くの方々に支えられ
ことが出来ました。
一部を紹介します。



新種のリュウガク。ふえてます。

留学生の体験談や後輩への
アドバイスを検索できるサイト
「留学大図鑑」への登録者が
1,800人を突破しました。



最先端が大好きなキミへ。

未来テクノロジー人材枠では、累計
326人の学生・生徒を採用しました。
地域人材コースでは、累計**623**人
を採用しました。

トビタテ出身社会人は約**3,300**名になりました。(2022年
4月調査)

自身で起業したトビタテ生も約**200**名にもなり、留学
の経験を社会に還元する人材が増えています。

社会人進路別人数 (トビタテ事務局調査、2022年4月時点)

業界名	人数
国内一般企業	2208
役所・官庁・政府系機関／法人／研究所	258
病院・福祉施設など	163
学校などの教育機関 (教職員)	153
海外企業・団体	109
フリーランス	108
NPO 法人・一般社団法人・公益財団法人	61
大学・大学院 (研究者／海外も含む)	55
その他	41

3,300人の社会人の内**7割弱**が産業界へ。その内**3割強**が支援企業・団体へ就職。「IT・通信業界」へ就職するトビタテ生が最も多くなっています。

留学生のロールモデルを公式SNSで発信しています

トビタテ公式 YouTube リアルな留学体験インタビュー動画を中心に掲載



高校留学、大学留学のきっかけや現地での苦労、費用や生活スタイル、留学後のキャリアなどについて、トビタテ生やその他の留学生
数十名が、詳しく語るインタビュー動画を投稿しています。



トビタテ公式 Instagram 留学エピソードやアドバイスなどを中心に掲載

トビタテ生のリアルなエピソード、帰国後のキャリアへの生かし方など、
先輩からアドバイスやストーリーを丁寧に定期的に投稿しています。



トビタテ公式 note コロナ後の留学を特集したマガジンの連載

今まさに留学中のトビタテ生から、留学中の苦労や、今後のビジョン、
留学内容などを発信いただく記事を更新しています。



トビタテ生が企画・運営したイベントを一部紹介

プレゼン大会「magpie's」

留学の成果を先輩から後輩へ
語り継ぐ交流イベントをトビ
タテ事務局とトビタテ同窓組織
とまりぎで共催しました。その
名も、トビタテ生によるトビ
タテ生のためのプレゼン大会



「magpie's」 in Osaka>。「magpie's」とは、鳥がついばむ様子
という意味のmagpie (マグパイ) が由来で、お互いの経験や知識
をついばみ糧になる場をつくろうという願いを込めています。
コロナ禍後、初めて大阪で開催した大規模リアルイベント、関西
圏を中心に全国からおおよそ100名のトビタテ生等が参加し、おおい
に盛り上がりしました。

トビタテ生61名参加のうち、37名が高校生コース、24名が大学
生等コースのトビタテ生でした。

前半は9名のトビタテ生によるプレゼンテーション。そして後半
は登壇者や、参加者同士の自由な交流会を開催しました。高校生
コース出身の大学生から大学生等コース出身の社会人まで、多彩
な分野で活躍する幅広い世代のトビタテ生が、留学経験やその
後の人生の変化、キャリアについて語り合いました。

トビタテ同窓会2023「TEN」

トビタテ10周年の節目に第6回
トビタテ全期生同窓会を約4年
ぶりに開催しました。当日は300
人を超えるトビタテ生(大学生等
コース1期～14期、高校生コース
1期～7期 全ての期)が一堂に
会し、現役高校生から大学生・社会人・トビタテ生パパママ・
とのお子様といった幅広い世代が集まりました。



同窓会のテーマは「会おうよ、10周年を言い訳に」
全3部構成のイベントとなり、トビタテ生らしく様々なテーマに
合わせてトビタテ生たちが集まり、起業や地方創生について話し
ている企画もあれば、国際結婚について話す企画や、ボードゲー
ムを楽しむ企画など、対面だからこそできることが満載のイベ
ントになりました。このトビタテ全期生同窓会は企画立案、会場
予約、経費精算など全てをトビタテ生自身が責任を持って作り上
げ、エンディングにはとまりぎPVを全員で視聴し、新たなステー
ジに向けてトビタテコミュニティの魅力をトビタテ生自身が高め
てくれた一日となりました。

多彩な人材育成とSDGs貢献のための留学コースを展開しました!

理系・複合・融合系人材コース

特に環境・エネルギー、ライフサイエンス、情報通信技術、農林水産、モノづくりの分野で学習や研究、インターンシップ、フィールドワーク等の留学を支援しました。



外山 由季
14期 カナダ
宮崎大学

不老長寿の果実「ハスカップ」を温暖地に広める開拓者となる!

ハスカップを温暖地で栽培するため①暖地性ハスカップの育種・栽培法習得②遺伝資源学的調査・機能的成分分析③起業のための農業ビジネスに関する知識の習得をしました。研究室では成分分析、圃場ではフィールドワークを学び、多くの果樹農園を訪れ経営手法等も学びました。この留学では研究的視点から温暖地での栽培スキルを身につけました。

世界トップレベル大学等コース

世界大学ランキング100位以内に位置する大学や、同等の教育レベルにある研究機関等への留学を支援しました。



近藤 英里奈
14期 イギリス
早稲田大学

コミュニケーションのエキスパートになる

ウォーリック大学で国際関係学と国際政治経済について学びつつ、実践活動は① Coventry City Volunteer に参加② Oxford Summer School で国家と移民の関係性と国家の軍事戦略を学んだ③ Cambridge Summer School で小説における時間を学び、短編小説を執筆。

新興国コース

今後、経済成長が期待される国や地域でのビジネスを視野に入れた若者を対象に、新興国などへの留学を支援しました。



大石 百音
14期 キルギス
北海道教育大学

誰一人取り残さない社会へ! ~EARTHDAY KYRGYZSTAN 2022~

①大学でロシア語学習・日本文化発信活動、②一村一品プロジェクトでのインターン、③国境や民族をこえた友人や仲間たちと協力して地球の日「アースデイ」のイベントを開催し、多様な価値観を共有しました。キルギスをはじめとした中央アジアの魅力や課題、今後の可能性を現地からの目線と哲学的目線で考えてきました。

多様性人材コース

スポーツ、芸術、政治、行政、教育、メディア、観光。ファッション、日本文化（古典芸能、和食等）など、様々な分野や活動において、今後の活躍が期待できる人材の留学を支援しました。



手塚 友貴乃
14期 カナダ
新潟医療福祉大学

日本の子どもたちに野外活動を!

野外活動が本場であるカナダで、ボランティアを通して教育における野外活動を学びました。日本とカナダの野外活動への価値観の違いや、教育方法、日常生活への影響について、現地の子どもたちやスタッフ同士での関わり合いの中で触れることができ、学校現場における野外教育の重要性を学ぶことができました。

地域人材コース

地域の発展に貢献することを希望する学生を対象とした留学コースを展開しました。



寒河江 康太
14期 インドネシア
山形大学

インドネシアの山村に滞在し水田の生き物を調査

伝統的な農業と暮らしを続けるカンパナガ村に滞在し、現地の暮らしや文化を学びながら水田の生物多様性を調査した。美しい棚田が広がり多様な生き物たちが生息しており、日本にもかつて存在した里山の姿をインドネシアに見た。急速に失われていく日本の農村の生物多様性や文化の保全活動にこの留学経験を活かしたい。

高校生コース

「アカデミック分野」「プロフェッショナル分野」「スポーツ・芸術分野」「国際ボランティア分野」での1年以内の留学を支援しました。



宗川 さくら
7期 ケニア
京都府立農芸高等学校

ケニアのサバンナで世界中の高校生と環境問題について深く考えたい!!

活動内容として、地域の奉仕活動のためにガスコンロの代わりとなるエコストーブ作り、絶滅危惧種に指定されているロスチャイルドキリンやライオン・フラミンゴなどの鳥類のモニタリング、動物の糞の撤去、地域の学校で子供たちに保護区についての教育など、多岐に渡る活動を行いました。本当に貴重な経験ができました。



額根 楓葉
7期 カナダ
東洋大学附属牛久高等学校

「自分」を輝かせるためのスキんケア

私は小学生から肌荒れに悩み、様々なスキんケアを試した自身の経験から見つけたのが、オーガニックという考えでした。自然由来のオーガニックは肌だけでなく自然にも優しく、性別を問わずに使えという特徴があるとカナダで見つけることができました。この経験を活かし、自身を輝かせられるようにしていきたいと思います。

未来テクノロジー人材枠

2017年より大学生等については「理系・複合・融合系人材コース」内に設置。高校生については「プロフェッショナル分野」内に設置されました。日本と世界の未来をつくる、8つの領域を研究する学生を支援しました。



板谷 玲哉
14期 スペイン
大阪大学

VRでつながる社会を作る

私はVRに関しての研究をするために、有名な教授がいるバルセロナ大学に1年間留学をしました。そこでは、まだ知られていないVRアプリの可能性、日本と海外のVRの研究が目指すゴールの違い、最新の技術を用いたプログラミングスキルを身に付けることができました。将来の方向性もこの留学で決めることができました。

鈴木 湧登

高校生コース 1期 アカデミック分野
現在の所属：北海道大学大学院情報科学院 情報科学専攻 情報理工学コース
ヒューマンコンピュータインタラクション研究室修士課程

どんな留学をしたか

私はアメリカのボストンのハーバード大学というところ約2週間ほど英語ディベートを学びに留学をしてきました。当時は高校2年生で、高校の部活で英語ディベートをやっていました。英語ディベートとは、4~6人ほどで行う団体戦の競技で、ある与えられた論題に対して賛成側と否定側に別れてジャッジの人をより説得した方が勝ちというスポーツです。ハーバード大学は、英語ディベートの名門校であり、私はそこでスピーチのスキル、論理の組み立て方などを学びました。カリキュラムは朝8時くらいから夜10時くらいまでしっかり詰められていました。朝は授業で、午後は実践練習、夜はまた授業という形が多く、とても大変でした。しかし、先生方がやさしく教えてくださったので、なんとか2週間を乗り切ることができました。また、ほとんどが中国の人や英語圏の人たちだったので、海外の人と切磋琢磨するいい機会になりました。



現在の生活や活動

北海道大学大学院情報科学院でXR(VRやARなどの総称)について研究しています。課外活動にも挑戦しており、2021年度には末踏IT人材発掘・育成事業に採択、2022年度にはクマ財団第6期生に採択されました。ここでは、「合気道の身体の使い方の習得を支援するMRソフトウェア」を開発し、札幌市で社会実装したり、研究の成果をまとめて論文を書いたりしました。このような活動で大事なものは、他人を説得するだけの論理力とそれを印象に残るように喋るスピーチ力です。この点で、英語ディベートで論理力とスピーチ力を鍛えることができたからこそ、今自分が本当にやりたいことができているのだと思います。今後は現在行っている研究開発をより社会に普及させるように多くの人と連携しながら、今までよりもより広い範囲での社会実装を進めていけたらと思います。



矢野 いずみ

大学生等コース 5期 新興国コース
現在の所属：日本たばこ産業株式会社 人事部

どんな留学をしたか

私はヨルダンとUAEへ留学しておりました。私は、『日本とアラブの懸け橋になる』をモットーに移住研究のフィールドワークをしておりました。ヨルダンでは、日本人がいないイルビドという町に、アラブで最も強い文化を持つと言われるイエメン人たちと共同生活をしておりました。そして、外国人として、女性として色々なコミュニティに精通していき、最終的には街を歩くと、皆が私の名前を呼んでくれるような世界になっていました。そんなどっぷりアラブ文化に浸かった留学中に考えたことは、『本当の豊かさとは何か?』ということです。自分たちの可能性を信じて想像力と勇気をもって行動していく人々や、人間同士の繋がりを大切にしたい現地での営み全てが新鮮でした。アラブ・イスラーム文化特有の精神性やホスピタリティに基づく彼らの人間性が、今日に至るまで自分のプリンシパルの原動力になっています。



現在の生活や活動

現在、日本たばこ産業株式会社(JT)人事部に所属しています。様々な意見がある中で、合意形成を図り、リーダーシップを持って業務遂行しなければならない環境下で、ふと意見対立が身近にあったアラブでの暮らしを思い出すときがあります。想像力を持って他者理解に努めようとする自身のスタンスは、気づかぬうちに留学を通して身に付けたものなのかもしれません。また、JTは世界中でビジネスを展開していますが、偶然にも私のヨルダンでのホストファミリーがスーダンオフィスで勤務をしています。その縁から、2022年に研修生としてスーダンに招いてくださり、多くのことを学ぶ機会を頂きました。Connecting The Dotsの話のように、自分の好奇心と直感に従って培った留学中の多くの点が、幾年経ても尚、線として繋がりに続いています。VUCAと呼ばれる時代の中で、不安なことも多いかもしれませんが、若い人達には自分を信じて突き進んでほしいと心から思っています。



トビタテ! 留学 JAPAN 第1ステージ成果報告会
～第2ステージに向けて～

2022年11月18日 @文部科学省

【第1部：第1ステージ成果報告】

司会：大学生等コース 1期 小原 花さん
大学生等コース 1期 中川 瑛さん

オープニング VTR / オープニングアクト

大学生等コース 12期 森川 遥那さん
大学生等コース 8期 中村 友里香さん
大学生等コース 9期 木戸 大輔さん
大学生等コース 8期 森川 華子さん

開会宣言

エグゼクティブ アドバイザー 船橋 力

トビタテ生留学報告

高校生コース 7期 アカデミック・テイクオフ分野
韓 知媛 (ハン ジオン) さん
「コロナ禍での留学体験/世界の「形」を探して」
大学生等コース 14期 理系・複合・融合系人材コース
田中 律羽さん
「技術×デザインで日本の技術力に新たな付加価値を与える」

来場者からの感想

東洋大学 ランポー亮子様
筑波大学附属視覚特別支援学校 佐藤 北斗様

社会人トビタテ生ピッチ

トビタテでの留学経験を活かして活躍している社会人からのお話
大学生等コース 1期 吉永 恵さん
大学生等コース 4期 佐久間 洋司さん
大学生等コース 8期 寺島 健さん
司会：船橋 力

支援企業・団体様からの感想

日本郵政株式会社 牧 寛久様
清水建設株式会社 綿引 秀樹様

第2ステージのコンセプト説明

プロジェクトディレクター 荒畦 悟
「Challenge, Connect, Co-create」

【第2部：感謝状授与】

司会：日本学生支援機構 グローバル人材育成部長 関 百合子

文部科学大臣挨拶

文部科学大臣 永岡 桂子

グローバル人材育成コミュニティ協議会 ご挨拶

代表幹事 渡邊 光一郎様

支援企業・団体のご紹介 運営幹事会構成員 19 団体

文部科学大臣感謝状授与

支援企業代表 ソフトバンク株式会社 青野 史寛様

記念撮影 / クロージング



第1ステージ成果報告会 大臣挨拶

皆さんこんにちは。文部科学大臣の永岡桂子です。本日の「トビタテ!留学JAPAN」第1ステージ成果報告会の開催に際し、御挨拶申し上げます。

文部科学省では、2013年度より社会総掛かりで若者の海外留学を後押しする、「トビタテ!留学JAPAN」を推進してまいりました。

特に、民間企業・団体等とも連携したオールジャパンでの代表的な取組である「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」は、官民協働で日本の若者の海外留学への挑戦を応援しようという前例のない画期的なプログラムとして、2014年度より実施してまいりました。

これまでに、趣旨に賛同する250社を超える企業・団体の皆様、350を超える個人の皆様から約123億円の御支援をいただき、約9,500名の若者が、海外での多様な実践活動の経験等を経て、グローバル人材として成長を遂げています。

改めまして、ご支援いただいている企業等の皆様に深く御礼を申し上げます。

また、第1ステージで留学を経験されたトビタテ生の皆さん、海外留学の魅力を、是非、社会や留学を志す若者に広く発信してください。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、上昇基調にあった日本人の海外留学者は激減してしまいました。このため、文部科学省では、落ち込んだ海外留学人数を2027年度までに少なくともコロナ禍前の水準に回復することを目指し、産学官をあげて取組を強化する方針を打ち出したところです。

この方針の実現に向けて、2023年度から2027年度までの5年間、官民協働オールジャパンでこれまでの成果等を踏まえた第2ステージを実施してまいります。

第2ステージでは、より若い時期からの海外留学を将来の留学につなげるため、高校段階からの留学支援を拡充しつつ、グローバルリーダーの育成も目指した「新・日本代表プログラム」をスタートします。生徒・学生の皆さんには積極的に応募いただき、海外での多様な実践活動の経験等を経て、将来の日本を支えていただきたいと思います。

最後に、これからの社会変革を担い、将来の日本を支える若い世代のグローバル人材育成につきまして、支援企業等の皆様方の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

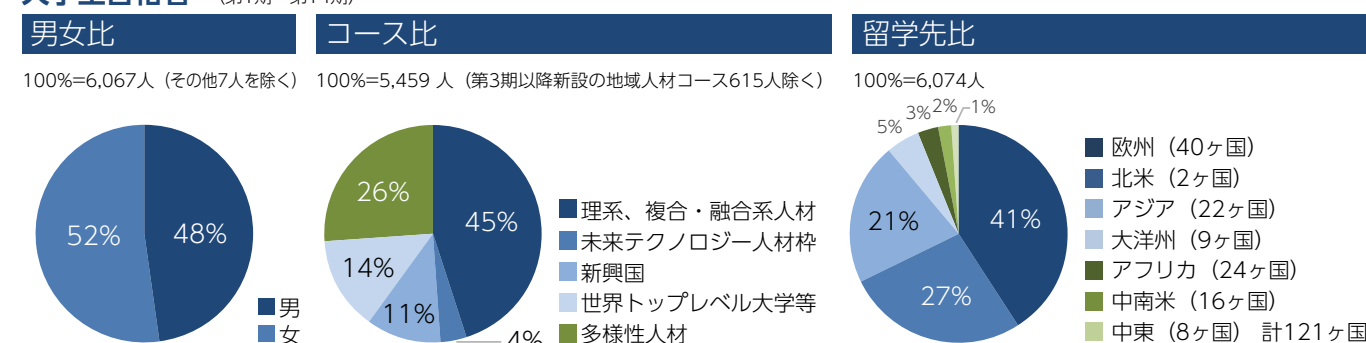


文部科学大臣 永岡 桂子

トビタテ生の状況を各種グラフでご紹介！

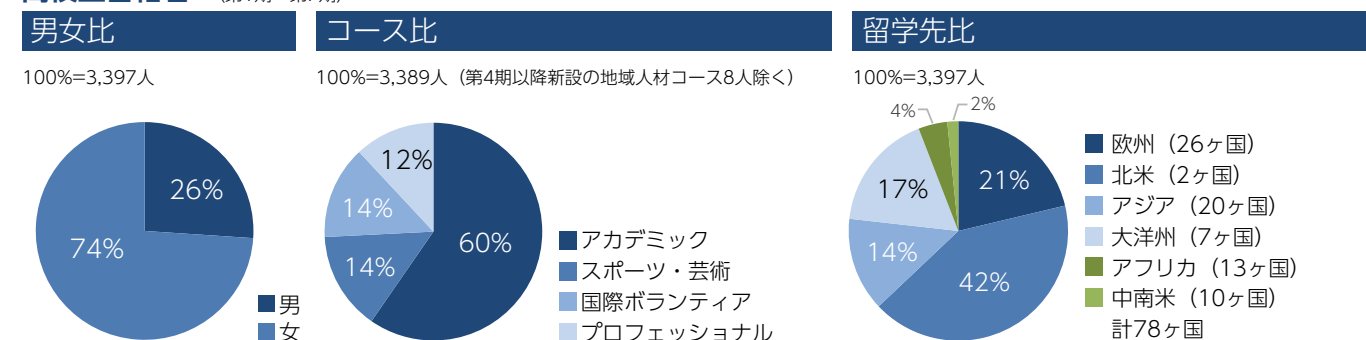
大学生は男女比1:1、理系半数。留学先は2割がアジアなど、計121ヶ国と多様。

大学生合格者 (第1期～第14期)



高校生は女子が7割。座学に限らない多様な海外経験をしている。

高校生合格者 (第1期～第7期)



日本の未来のために、新たな挑戦が始まります。

■ ビジョン、コンセプト

ビジョン

日本の若者が世界に挑み、
“本音と本気”で国内外の人々と協働し、
創造と変革を起こす社会

コンセプト

Challenge, Connect, Co-create

Challenge

・若者の海外への挑戦をオールジャパンで応援する。

Connect

・トビタテ生同士を繋げ、多様な若者が繋がるコミュニティを形成する。
・トビタテ生が海外のネットワークと繋がる。
・トビタテコミュニティと志を同じくするステークホルダーを繋げる。

Co-create

・協働して次期事業を創り上げ、留学機運を再醸成する。
・協働プロジェクトを創出し、社会に創造と変革を起こす。
・価値イノベーション人材のロールモデルを輩出する。

トビタテ! 留学 JAPAN
プロジェクトディレクター

荒畦 悟



「トビタテ! 留学 JAPAN」では、留学の支援だけでなく、帰国後に多様な若者が“本音と本気”で繋がれるトビタテコミュニティも育んできました。年間150を超えるイベントを全国で開催し、世代や地域、専門性を越えた繋がりを作っています。第2ステージでは、このコミュニティをより外へ開き、支援企業・団体、自治体や学校などとも繋げることで様々な協働プロジェクトを生み出していきます。更には、協働先を海外にも広げ、日本の若者が世界をフィールドに活躍できる機会を増やしていきます。

1 新・日本代表プログラム

5つの特長

- 1 留学プランを自分で設計できる!**
テーマ・行き先・期間も自由
- 2 インターンやボランティア、研究も対象!**
座学だけでなく様々な学び方ができます
- 3 民間寄附による返済不要の奨学金**
毎月の奨学金(12万円/16万円)に加え留学準備金などのサポートも
- 4 充実した事前・事後研修**
留学前も後も、多様な講師陣や仲間同士で学べる充実の研修を提供
- 5 約9,000名のトビタテ生コミュニティ**
あらゆる分野で活躍する多彩な先輩トビタテ生と繋がり切磋琢磨しよう

支援内容

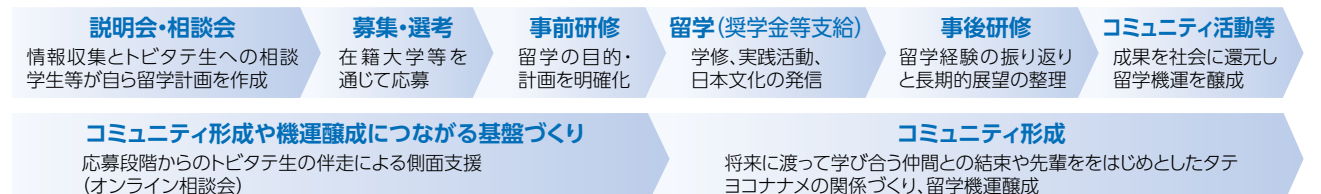
家計基準区分		家計基準内	家計基準外
支援期間	大学生等	28日以上～1年以内(3ヶ月以上の留学を推奨)	
	高校生	14日以上～1年以内	
奨学金(月額)		120,000円または160,000円 (留学先地域によって異なる)	60,000円 (留学先地域問わず)
留学準備金		150,000円(アジア地域)、250,000円(アジア地域以外)	
授業料	大学生等	300,000円	
	高校生	月額で支給する奨学金に含む	

新・日本代表プログラム(大学生等対象)

「自ら社会に変革を起こしていく
グローバルリーダー」を目指す!
そんな学生のための海外留学支援制度です。

トビタテ! 留学 JAPAN「新・日本代表プログラム」は、返済不要の奨学金や研修等を通じて、学生等(大学生、短大生、大学院生、高専生、専修学校生)の自由な海外留学を産・学・官協働で支援します。

プログラムの流れ



コース

イノベーターコース

50名/年

・自ら課題を設定し解決に向けて試行錯誤し、独自の構想力を持って既存の枠組みを超えた新たな価値を創造しようとする(ゼロをイチにする) 挑戦的な留学計画を支援

STEAMコース

100名/年

・日本及び世界の社会課題解決のための技術革新や新産業創出に貢献するSTEAM (Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics) 領域における留学計画を支援

ダイバーシティコース

100名/年

・派遣留学生の専門領域における課題解決に取り組む留学計画を支援(スポーツ、芸術、人文学、社会科学、総合知領域等を含む多様な領域)

※支援予定人数全体(250名)の1割程度を【大学1年生枠】にて採用予定

※STEAMコースの支援予定人数のうち1割程度を高等専門学校(高専)の学生から採用予定

※応募においては、日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たすことが条件になりますが、支援予定人数全体の1割程度を上限に基準外の学生等も支援する予定です。

柱となる3事業

1

新・日本代表プログラム

民間寄附による留学支援制度「日本代表プログラム」後継事業として、「自ら社会に変革を起こしていくグローバルリーダー」(大学)や「社会(地域)にイノベーションを起こすグローバル探究リーダー」(高校)を育成する新たなプログラムをスタート。より若い時期からの海外経験を将来の留学につなげるため、高校段階からの留学機運醸成・支援を強化する。

2

留学プラットフォーム

留学支援の取り組みを可視化することで、より多くの主体が支援に取り組む状況を目指し、留学支援者相互及び留学希望者との架け橋を築き、トビタテが持っているノウハウを提供することにより、関係者のネットワークを活用した留学機運醸成を図る。

3

価値イノベーション 人材ネットワーク

多様な海外体験をした人材の成長を加速する組織やセクターを超えたネットワークを築き、トビタテコミュニティの更なる活性化を図り、国内外の多様なステークスホルダーとの協働を促進。

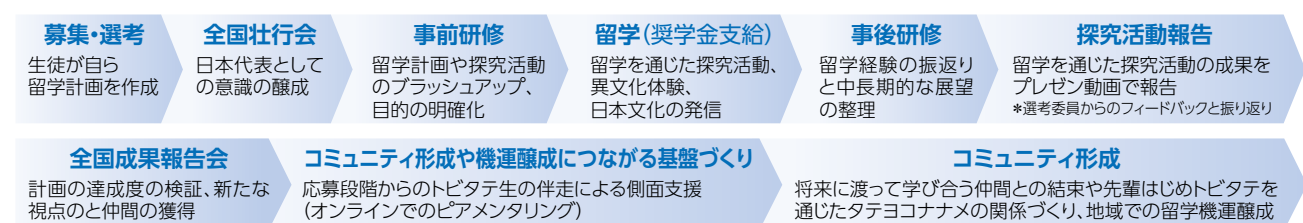
日本の未来のために、新たな挑戦が始まります。

新・日本代表プログラム(高校生等対象)

「社会にイノベーションを起こす グローバル探究リーダー」を目指す! そんな高校生のための留学制度です。

トビタテ! 留学 JAPAN「新・日本代表プログラム」は、返済不要の奨学金や研修等を通じて、高校生の自由な海外探究活動を産・学・官協働で支援します。

プログラムの流れ



コース

マイ探究コース

360名/年

・好きなこと、得意なこと、挑戦してみたいことなど、自らの興味・関心や自分の中にある問題意識を起点として考えた自由なテーマや課題を設定し、多様な人々との異文化交流を通して、問題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。

社会探究コース

200名/年

・Society5.0やSDGsを踏まえ、世界・日本・地域が抱える社会課題を自分ごととして考え、「自分自身」の立場からできること・できそうなこと・すでに取り組んでいる活動を活かし、自由な発想と創造力をもって課題解決や活性化、社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。

スポーツ・芸術探究コース

140名/年

・自身が所属する部活動や学校外の活動を活かし、海外の指導者のもとで競技力や表現力のレベルアップを目指すとともに、スポーツ・芸術活動を通じた課題解決や社会貢献につながる探究活動に取り組む留学を支援します。

※地域応援枠(20名以上応募のあった都道府県を対象に上位5名を優先して採用)、全コース対象の新高校1年生枠を設置。

※マイ探究、社会探究のうち、支援予定人数の3割程度を【STEAM枠】として支援する予定です。

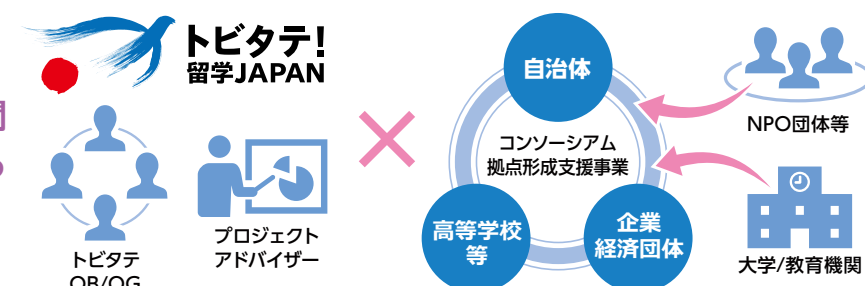
※応募においては、日本学生支援機構の第二種奨学金の家計基準を満たすことが条件になりますが、支援予定人数全体の1割程度を上限に基準外の生徒も支援する予定です。

拠点形成支援事業(トビタテ高校生対象のプログラムを各地で実施)

事業の実施主体は、各地域を支援する企業・経済団体、地方公共団体(都道府県)、高等学校(国公立の代表者がすべて参画)等、高等専門学校、大学(国公立の複数の大学が参画)等、その他高等学校段階からのグローバル人材の育成に関心を持つ団体等により構成される**コンソーシアム(協議会)**とする。また、募集コースにはトビタテ3コースに加えて、「地域探究コース」も設置する。

地域探究コース

地域の特長を踏まえ、自らの興味・関心から発見された**地域特有の課題**を自分事として捉え、「自分には何ができるのか」を考え出し、**課題解決や地域貢献**につながるテーマを海外で探究する留学を支援。

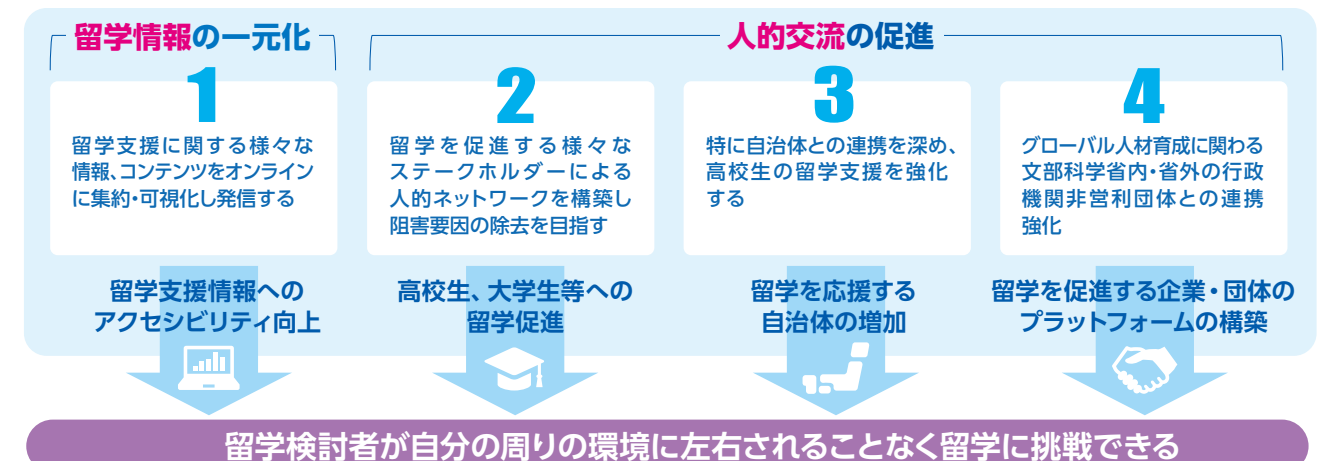


トビタテのノウハウの横展開 留学機運を全国各地で高める

② 留学プラットフォーム

留学プラットフォームの目的

自治体、学校、産業界等による既存の留学支援の取り組みを可視化するとともに、留学奨学金制度や留学プログラム、留学啓発機会をより多くの主体(特に自治体、高校、大学)が作り、全国津々浦々に張り巡らせる。それにより、高校生と大学生の留学数をコロナ禍前の水準にいち早く回復し、さらに増加させることを目指す。



SIPS Staff & student Initiative for Promoting Study abroad

-留学機運醸成にチームで取り組む大学等を支援するプラットフォーム事業-

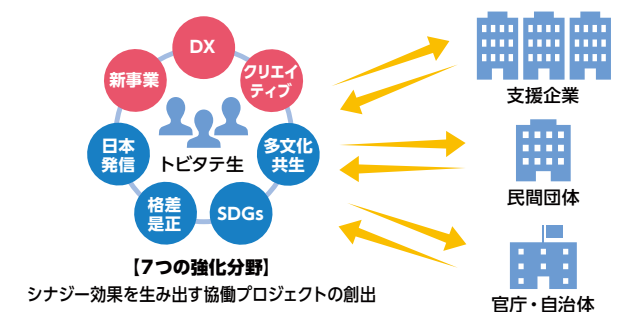
留学機運を盛り上げたい職員と学生が組む「大学ごとのチーム」を全国から募集、支援するプラットフォームであり、定期的な相互交流・情報交換の場を設けてネットワーク化、留学促進活動活性化の取り組みです。



③ 価値イノベーション人材ネットワーク

価値イノベーション人材ネットワークの目的

トビタテ生のコミュニティを社会と繋げ、協働プロジェクト等を通じて価値イノベーション人材を育成。
留学経験者の社会に出てからのロールモデルを示すことで留学機運醸成の一翼も担う。



取組事例

銀実会様とのアイデアソン

フィールドワーク@銀座を複数日程実施。
担当の方に銀座の商業施設の現状であったり、コロナ禍の課題感を共有いただきながら銀座内を調査
アイデアソン@オンラインを終日実施。
午前) 相互理解や銀座の歴史、風土、課題感のレクチャー
午後) ディスカッション(3チームに分かれ各々3回)と「2022年度に銀座の街を舞台に開催する企画」のプレゼン
<2022年3月実施>
トビタテ生10名、銀実会2名、事務局5名が参加。3チームから屋内、屋外で開催する企画のアイデアを10個程度提案。
その後、銀実会側で銀座の催事委員長を通じ、2022年度開催を目指して前向きに企画の検討を一緒に進めましょと承諾を頂いた。



JR東日本様とのコラボイベント

東日本旅客鉄道株式会社様は新大久保駅でKDCという食のコミュニティを形成する事業を運営され、トビタテ生と食に関するコラボを目指すという経緯で連携を開始しました。

<2021年9月実施>

KDC施設の視察とオンラインのアイデアソンを実施し、約20名の食に興味のあるトビタテ生が参加。アイデアソンでは9つのアイデアが出そろった。今後もKDC施設の食コミュニティを盛り上げる一翼として、トビタテ生企画が担えるように協働していく。

<2022年11月実施>

オンラインにて「メタバース」をテーマに、Web3.0を手掛けるASTARネットワークの共同創業者である石川駿さん(トビタテ大学生等コース6期)によるkey noteセッション、約15名の海外を経験したZ世代の感性をもつトビタテ生と4時間わたるセッションを開催。ユニークなアイデアも40件以上出たことで、JR社員の方からも非常に好評を頂き、2023年3月末にテーマを変えてオフライン開催で第二弾も実施。



■ 個人支援者一覧 敬省略 50音順

2021 年 1 月～ 2023 年 2 月までの寄附者 261 名

プラチナ / ゴールド / シルバー支援者

イフジ産業（株） / 小田玄紀 / 加藤幸輔 / 木川陽介 / 島戸一臣 / 新村和大 / 瀬戸早苗 / 高見信光 / 谷口正俊 / 筒井勝美 / 筒井俊英 / 角田太郎 / 野水勉 / 馬場信治 / 原田弘二 / 東哲郎 / 村田貴士 / 吉田なおみ

支援者

青野史寛 / 赤尾文俊 / 飯田紗織 / 石原敦夫 / 石原健一朗 / 今泉誠也 / 遠藤宗広 / 大坪隆志 / 大屋佳世子 / 大和田博斗 / 岡嶋美和 / 長田真幸 / 小高友久 / 小野由布子 / 甲斐実 / 片岡知里 / 加藤洸次 / 加藤智大 / 金子亮平 / 貴島和美 / 貴島慎一 / 貴島照代 / 北瀬愛 / 木下幸代 / 喜屋武愛莉 / 栗原拓也 / 黒崎奈未 / 河野智昭 / 小嶋慎吾 / 胡麻本太 / 坂本典子 / 坂本憲治 / 斎藤真 / 佐々木伽歩 / 佐藤北斗 / 篠原翔 / 嶋田一義 / 清水元承 / 志村一 / 鈴木大祐 / 関谷秀樹 / 曾我光弘 / 高木康之 / 高田明夫 / 高橋建 / 田中裕希 / 辻潔 / 時田明美 / 徳満大和 / 栃木渉 / トリップアテンダント / (有) 十和田乗馬倶楽部 / 中田志郎 / 中舘尚人 / 仲舘祐太郎 / 中西洋平 / 永野達也 / 西尾美菜 / 西谷真彰 / 任玲 / 沼野太郎 / 橋詰篤志 / 浜川由理香 / 坂内佑太郎 / 深澤正博 / 福田成康 / 藤代國忠 / 堀口美波 / 本多宏江 / 松井明治 / 松尾正人 / 松尾美紀 / 松尾礼央 / 松田茂之 / 圓尾健一郎 / 三浦靖春 / Miki Shojiro / 溝口未波 / 光岡龍斗 / 三村幸平 / 三宅康友 / 宮崎貴博 / 宮崎陽平 / 宮西愛美 / 村田佳世子 / 持田摩利支 / 茂原明美 / 森田哲平 / 柳田真雄 / 山方知之 / ヤマトファイナンシャルサービス（株） / 山本徹也 / 渡辺勝己 / 渡辺力也 / (株) り喜八

トビタテ生支援者

相澤遥 / 相原恭平 / 青木優 / 安谷屋樹 / 新井翔太 / 荒井悠太 / 生田海斗 / 石田光明 / 伊舎堂雄二 / 井上皓介 / 岩井凌太 / 植月和輝 / 植山賢一 / 内山翔太 / 梅原瑞喜 / 江越末悠 / 大上文子 / 大西弘也 / 大野宏 / 大林由弥 / 大平赴之 / 小川良磨 / 奥俊雄 / 奥浜真乃助 / 奥村瑞貴 / 長田壮哉 / 加川美由紀 / 潟中弘貴 / 勝見仁泰 / 加藤泰大 / 兼田真周 / 亀田雅紀 / 栢徹夫 / 川上雅弘 / 川越隆裕 / 川崎萌 / 川崎柚帆 / 川西亮之 / 川真田愛夏 / 河本聖己 / 喜多恒介 / 喜田由伎於 / 木田龍祐 / 木下功太郎 / 葛生朝美 / 葛生朝美 / 熊澤亜未 / 古泉隆佑 / 洪英高 / 神島駿太郎 / 神代貢志 / 合田剛 / 五嶋大介 / 小島浩道 / 後藤正太郎 / 小林諭史 / 小林冬馬 / 小林裕貴 / 齋藤毬子 / 斎藤有理 / 佐賀健志 / 坂下琴音 / 坂本眞一郎 / 櫻井友紀 / 佐々木健 / 佐藤里穂 / 佐野哲也 / 澤田賢太 / 重宗宏毅 / 下出健介 / 菅沢誠士 / 鈴木健太郎 / 鈴木里沙 / 善福光 / 高澤太地 / 高階空也 / 高柴慶人 / 高原優 / 田口葵 / 只野翔大 / 辰巳守祐 / 塚田裕弥 / 土屋みなみ / 寺下穂 / 戸上純 / 戸田清太郎 / 友広瑞来 / 中井澤卓哉 / 中川瑛 / 中川千絵美 / 永澤慶章 / 中野雄太 / 永松秀朗 / 長屋美咲 / 中山裕基 / 夏目佳奈 / 植崎洋子 / 二階堂夕海 / 二茅理穂子 / 西村ジャンコ / 橋本小夏 / 服部魁人 / 馬場実里 / 濱口正幹 / 原田直明 / 久松祥子 / 菱川湧輝 / 深沼瑞会 / 福島悠太 / 藤井太一 / 藤井優花 / 藤井里奈 / 藤田えりか / 冬木悠生 / 冬木理恵子 / 星野雄三 / 堀佳月 / 堀口駿 / 本庄遥 / 槇山武蔵 / 松尾博一 / 松崎明日翔 / 松嶋恭子 / 松島由佳 / 松村綾乃 / 水口あすか / 宮川南奈 / 三輪潤平 / 村上愛瑠 / 村松麻知子 / 森一輝 / 森田伸友 / 森山巳央 / 安田洋介 / 矢津田昭仁 / 山口諒真 / 山本賢吾 / 山本麻理子 / 横井健汰 / 横井駿 / 吉田佑樹 / 吉谷真子 / 若宮健 / 和田隆克 / 和田海月

支援者の希望で法人名にて芳名を掲載している方もいます。

■ 応援メッセージ

「14日あれば、別人になれる」トビタテ生を全力で応援します

「14 日あれば、別人になれる」私の大好きな言葉です。学校の教員として、生徒たちの留学を担当していますが、トビタテ！で留学する高校生皆さんの担当とも勝手に思っています。留学中に様々な困難に直面しながら多くの体験をしたトビタテ生は、Comfort Zone から抜け出し、世界をリードする一員に成長します。事前研修で出会った輝きは、留学後に何倍も磨きがかかり、別人に変容するのです。そんなトビタテ生をこれからも全力で応援します。



佐藤 北斗 様

筑波大学附属
視覚特別支援学校教諭
(国際教育担当)

「留まって学ぶ経験」を持つ仲間が集うコミュニティ

私にとってトビタテは、貴重な留学経験だけでなく、帰国後の人生や働き方に大きな影響を与えてくれました。トビタテを通じて留学した人に共通するのは様々な国や地域に留まって学んだ経験。学ぶ領域、渡航先、留学計画は十人十色な仲間が集うトビタテのコミュニティには、これからの日本社会を変革していく強い力を感じます。今後も志高く世界へ飛び立ち、このコミュニティの仲間がひとりでも増えるよう微力ながら支援しています。



宮川 南奈 様

トビタテOG

あなたが世界をつなぐ あなたと世界をつなぐ

一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 (IIBC) は「人と企業の国際化の推進」への貢献を基本理念とし、TOEIC Program の実施運営に加え、書籍やラーニングツール、及びグローバル人材育成プログラムの提供を行っております。IIBC のコーポレートスローガンは「あなたが世界をつなぐ あなたと世界をつなぐ」です。トビタテ日本代表プログラムに応募してくるのは「自分が世界をつないでいこう」と意気に燃えている学生たちで、彼らを支援することはまさに我々が目指すゴールと合致しております。このため、IIBC は第 1 ステージから継続して本プロジェクトを支援してまいりました。留学経験を経て、一人でも多くの若者が主体的に世界とつながり活躍されることを切に願っております。



大橋 圭造 様

一般財団法人
国際ビジネスコミュニ
ケーション協会
理事長

自分の人生を変えた「トビタテで」 留学する意義

トビタテ OB の私は、留学後に起業し、2 年前に支援企業となりました。それは、いうまでもなく、トビタテ留学で人生が変わった恩があるからです。普通に留学をしていたら人生がそこまで大きく変わっていなかったと思います。応募時や留学前の研修から自分の人生について考える機会を与え、留学後も留学の成果や学びを今後の人生にどう活かすか考え、それを全力でサポートしてくれました。そして、トビタテのコミュニティという「家」があることで、常にチャレンジ精神を持ち続けることができることが出来ました。留学を単発で終わりのあるものにしないからこそ、私の人生が大きく変わり、事業を通して社会に少しずつ還元できているように思います。私が身をもってトビタテの意義を知っているからこそ、今後も色々な形で支援をしていきたいです。



岡田 悠輝 様

トビタテOB
合同会社Setolabo代表

■ 決算報告書

令和4年度予算(内訳)及び令和2年度からの推移

※単位:千円

経費項目	内訳	R2年度決算	R3年度決算	R4年度当初予算
①奨学金等学生支援関係経費				
	奨学金、授業料及び留学準備金 (往復渡航費/事前・事後研修参加費)	335,620	556,439	1,049,586
奨学金等	a. 大学生等コース	(221,576)	(429,276)	(619,280)
	b. 地域人材コース	(1,362)	(9,463)	(8,810)
	c. 高校生コース	(18,268)	(11,789)	(246,820)
	選考実施経費 (システム・委員会実施)	44,287	71,646	40,100
事前・事後研修実施経費	大学全国コース・地域人材コース	44,326	25,026	35,388
高校生コース実施経費		5,801	9,239	26,866
新トビタテ!事業費		0	0	72,322
②コミュニティ事業実施経費				
	企業/学生コミュニティ 企業説明会等実施経費	16,909	12,339	35,481
	地域事業実施経費	15,368	8,874	25,237
	地域事業実施経費	0	0	8,023
	地域人材コース補助経費	1,541	3,465	2,221
③管理経費	事務費・人件費等	109,976	145,822	160,869
④広報費	印刷物作成・広報イベント実施経費等	3,177	2,539	1,000
合計(①+②+③+④)		465,682	717,139	1,246,936

奨学金等の積算について

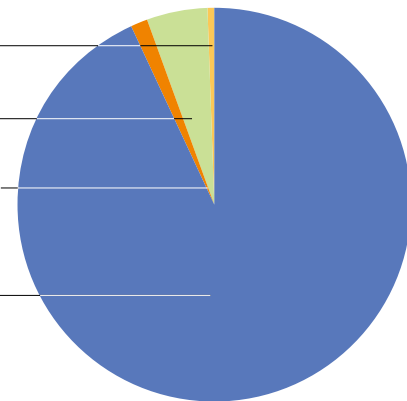
令和4年度は、既に採用済にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の影響で留学開始を保留しているトビタテ生の派遣への支援に注力し、新規の募集を実施しないこととしたため、留学開始を保留しているトビタテ生が全て留学を開始するものとして、費用を積算している。

寄附金の使い方

支援企業の皆様からの運営支援によって管理経費等の事務費・人件費は一般的な非営利団体等に比べ非常に低く抑えています。寄附金の約93%を奨学金等・研修運営として直接トビタテ生のために活用しております。

費用構成比(H26～31年)

- ④ 広報費 0.5%
- ③ 管理経費 4.8%
- ② コミュニティ事業実施経費 1.6%
- ① 奨学金等学生支援関係経費 93.0%



▶ 寄附の種類

「トビタテ!留学 JAPAN」の新・日本代表プログラムに係る奨学金等、及び留学機運醸成のための活動資金は全て皆さまからの寄附を財源としております。

継続的に寄附をする

一度お申し込みいただくと、自動的に決められた月日※に定額をご寄附いただけます。

(解約のご連絡をいただくまで、自動継続となります。)

※ 月1回、年1回、年2回からお選びいただけます。

一括で寄附をする

インターネットを通じ、クレジットカードでご寄附いただけます。

書面によるお申し込み

お電話でお申し込みいただいた後に、必要書類を郵送いたします。まずは【03-6734-4923】までお問い合わせください。



紺綬褒章*の伝達式の様子
(※ 500万円以上の寄附の場合は、紺綬褒章の申請を致します。)

ご寄附は
こちらから!



▶ よくあるご質問

受領書は発行されますか?

マンスリーサポーターの方については、毎年1月に前年1月～12月の入金分をまとめた受領書を取りまとめて発行・送付いたします。単回・年1回・年2回でご寄附をいただいた方については随時発行いたします。

税制優遇の対象になりますか?

本プログラムへの寄附金は、特定公益増進法人である(独)日本学生支援機構への寄附として、所得税・住民税・相続税に対し税制上の優遇措置が認められています。

寄附の用途を指定できますか?

寄附金の使いみちは原則としてトビタテ!留学 JAPAN に一任いただいております。
トビタテ!留学 JAPAN は日本の留学機運醸成のために、奨学金事業だけでなく、多くの活動を遂行することが、その理由です。

▶ ポイントサービスによる寄附



アプラスカードのポイント
50pt から寄附できます。



出光クレジット株式会社

出光クレジットのポイント
500pt から寄附できます。



ガスパッチョポイント
100pt から寄附できます。



NetMile

ポイント交換所「ネットマイル」にて
100mile から寄附できます。



Founding Visa Member

VISA の「ワールドプレゼント」にて 200pt から寄附できます。